

## 第93回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和4年6月27日（月）14時00分～16時40分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

### III 出席者

- ・学外委員：荒川早月、石野富志三郎、大熊由紀子、川村恒明、小林武弘、齋藤佐和、宍戸和成、竹下義樹、藤島省太、森戸久雄、山岸直人の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、酒井貢、四日市章、長島一道、内藤一郎、坂尻正次、谷貴幸、加藤一夫、三好茂樹の各委員

### 欠席者

- ・学外委員：石井靖乃、北原保雄の各委員
- ・学内委員：なし

### 陪席者

- ・大島慎子監事、竹内啓博監事
- ・【審議事項1のみ陪席】香田泰子教授、伊藤和之教授、白澤麻弓教授、河原正治准教授、宮城愛美准教授、田中仁講師
- ・【報告事項2のみ陪席】後藤由紀子助教

### IV 議 事

#### 1 前回議事録の確認について

議長から資料1により、第92回の議事録について説明があり、案のとおり確認された。

#### 2 審議事項

##### (1) 新たな学位プログラムの設置について

学長及び香田教授から、資料2-1～2-4に基づき、新たな学位プログラムの設置について説明があり、意見交換を行った結果、学外委員から出された意見を参考として更に検討を進めることとなった。

(主な意見)

#### 【学位プログラムの名称について】

- 「ダイバーシティ」といったときに、視覚障害だけで捉えてよいのか。どのように学べば、「ダイバーシティ」を担う人材を育成できるのか。大学間連携、単位互換等で、他大学学生との交流を授業に取り込めれば、本プログラムの売りを打ち出せるのではないか。
- 障害当事者の立場からは、「ダイバーシティ」という名称は企業のイメージが強い。政府はカタカナ表記を減らしていくという方向だと思うが、本プログラムにおいても誰にでも分かる日本語表記の課程名称にしたらどうか。

#### 【カリキュラムについて】

- 「養成する人材像」及び「卒業の進路」と「カリキュラム」との関連付けをはっきりさせることが重要である。「卒業後の進路」として、民間企業の人事部、総務部及び企画部が掲げられているが、これらは高度な仕事に分類されるため、実際に当該部署で仕事をしている卒業生へのヒアリングや、民間企業がこれらの部署に配属する社員にはどのようなことを期待しているのかを把握すること必要なのではないか。
- 資料2の参考資料「設置の趣旨」に記載されている理念と実際のカリキュラムを比べると、人文科学系の科目が少ない印象がある。社会の問題を解決するためには、社会の仕組みや法制度等、社会科学の基礎的な考え方を学ぶ必要があるのではないか。
- 資料2の参考資料「設置の趣旨」は設置認可の申請時に重要な資料という位置づけになると思うが、この中には「科学技術・イノベーション」から「学習指導要領」まで、様々な要素が記載されている。「総合知」や「文理横断」等の言葉が出てくるが、これらの表現と実際のカリキュラムには大きな乖離がある。こういった表現は避けて、現実的な着地点を意識して書くべきではないか。

#### 【卒業の進路について】

- 学生募集の際には、受験生向けに分かりやすい案内資料が作成されると思うが、今回の説明からはこの新しい学位プログラムの内容が掴めない。「卒業後の進路」に記載されている就職先でどのような役割を担うのか、どのような職種を養成しようとしているのかが分からない。このあたりをもっと具体化してほしい。

#### (2) 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定等について

谷学部長から、資料3-1~3-3に基づき、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### (3) 新型コロナウイルス感染症に係る手当の特例に関する規程の制定について

事務局から、資料4に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る手当の特例に関する規程の制定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### (4) その他

特になし。

### 3 報告事項

#### (1) 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

学長から、本年度4月以降の新型コロナウイルス感染症に関連した本学の対応について報告があった。

#### (2) 「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の採択について

後藤助教から、資料５－１～２に基づき、「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の採択について報告があった。

(3) 令和４年度学長選考・監察会議委員について

事務局から、資料６に基づき、令和４年度学長選考・監察会議委員について報告があった。

(4) 令和４年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について

事務局から、資料７に基づき、令和４年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について報告があった。

(5) 令和３年度卒業・修了生の進路状況について

事務局から、資料８に基づき、令和３年度卒業・修了生の進路状況について報告があった。

(6) 令和３年度国家試験合格状況について

事務局から、資料９に基づき、令和３年度国家試験合格状況について報告があった。

(7) その他

特になし。

以上